

## ふれあい体育祭り



令和5年10月19日 コロナ禍で4年ぶりとなる「第15回 香川県知的障害者福祉協会 ふれあい体育祭り」が高松市総合体育館で開催され、参加いたしました。全部で13施設の利用者様が集まり、パン食い競争、玉入れ競争、ひっくり返し競争など楽しく参加しました。

[P1へ](#)

## ポム・ド・パンの理念

- ・障害があっても、誰からも愛される人に成長できるように、丁寧に寄り添って関わります。
- ・障害があっても、正しいことを根気よく伝えることにより、何歳になっても成長することを信じます。
- ・障害があっても、できることが増えるように、様々なことを獲得できるように、一貫性をもって、継続して支援します。
- ・障害があっても、その方の得意なことを、大好きなことを見つけ、これを通して、生活基盤を作ります。



第15回 香川県知的障害者福祉協会主催

## ふれあい体育祭り

10月19日



玉入れ競争



パン食い競争

久しぶりに大勢での外出でどこか利用者様も緊張気味で朝 9:15 バスに乗りました。バスの中で 1 日の日課の説明をすると目を輝かせている人、笑顔の人とさまざまでしたが体育館に着くと、職員の話をよく聞いて移動し、スムーズに参加することができました。たくさんの施設の方々と一緒に①ストレッチ体操②パン食い競争③ひっくり返し競争④玉入れ競争等、4 種目すべての種目に全員で参加できました。みんなでお弁当やパンを食べて、楽しいひとときを過ごすことができました。

主任生活支援員 加藤 理江

パン食い競争では最後まで諦めずに口を使って取る姿や、ひっくり返し競争、玉入れ競争では、職員も利用者様もとても楽しんでいる姿がほほえましく、一生懸命な姿に感動を覚えました。ボランティアで参加された先生も楽しんでもらえて良かったと思います。

生活支援員 新藤沙也香



ひっくり返し競争

3年間続いたコロナ禍も収まりを見せ、ようやく落ち着き 4 年ぶりにふれあい体育まつりが再開しました。体育館が一体となって盛り上がり利用者様、職員のエネルギーを感じました

様々な障がいや個性のある方がそれぞれの形で競技に取り組んでいること、多くの支えがあって障がい者のスポーツ大会が成り立っていると思いました。

競技に参加することで利用者様、職員が自然とコミュニケーションが生まれ、互いに協力するいい機会となりました。利用者様と共に楽しい時間を過ごしました。

生活支援員 松田 仁美



昼食の様子





祈りの言葉を歌って頂きました



## 読み聞かせ

### 高松パイロットクラブの ブレインマインダーズの活動

パイロットクラブの主な活動の一つである「脳を大切に」の啓発運動がブレインマインダーズです。私たちは、その紙芝居をするときに、日本語及び英語の絵本の読み聞かせをしています。

1回目 令和4年11月15日、2回目 令和5年3月13日に続き3回目となる9月26日(火)には、紙芝居（脳を大切に）・（ライオンとネズミ）英語の絵本（goody goody gumcandy）を読みました。

最初に挨拶として英語でハローソングを歌いました。利用者の方にとって初めての英語で一緒に歌うまではいきませんでしたが、ハローソングが載っている携帯の画像は興味深く見てくれました。最後に、日本に30年近く住んでいるイラン人の高松パイロットクラブの会員が祈りの言葉をイラン語で歌いました。すると、少し落ち着きがなくなった場の雰囲気は静かになりました。彼女の歌声から感じる穏やかな優しい気持ちは通じ合えると感じました。

読み聞かせの趣向を考えながら、障害者支援施設ウインドヒルの利用者の方たちとの交流を続けていきたいと思っています。

高松パイロットクラブ 森田 京子



## 避難訓練

9月29日(金)高松南消防署立会の元、避難訓練を行いました。この日は隣接する山林の日中火災想定で、実践さながらの訓練を行いました。毎月防災意識を高めるため、火災・水害・地震などの災害を想定し、予告せずに放送を利用して行っています。移動時は職員の声掛けをよく聞き、避難場所へ移動し、落ち着いて座って待つことが出来ます。消防署立会隊員の方より、職員の適切な声掛け・誘導方法、利用者様の落ち着いて移動している様子、また避難場所での静かに座って待っている様子を見て、全体的に問題のない避難状況でしたとお言葉を頂きました。ただ避難経路が割と急な階段であることから、利用者様の足元の安全性を考え遊歩道を利用することも今後検討しなくてはならないのと、非常通報時の機械操作には、誰が操作してもいいように、慣れておいた方がいいとのアドバイスを頂き、今後の訓練の際には改善すべきことを学びました。







## 交通事故ゼロキャンペーン

9月22日に主要交差点などに立ち、交通事故ゼロキャンペーンを実施しました。参加者は通勤中のドライバーらに交通ルールの順守などを訴えました。

キャンペーンは、県交通安全県民会議等が秋の全国交通安全運動（21日～30日）の一環として開催しました。県内全市町の主要交差点と交通量の多い道路沿いで行われました。

ウインドヒルも利用者様4名が香川総合体育館前の空港通り沿いに立ち、「シートベルト着用」「飲酒運転禁止」等と書かれたプラカードを掲げ、ドライバーさんに交通ルールを守って安全運転してもらうよう呼びかけました。

また9月29日には「反射材着用街頭キャンペーン」として県内の主要交差点等計67か所において、各市町長をはじめ、交通安全ボランティア団体等、総数約4000人が参加して、ドライバーや歩行者等に対して反射材の効果を訴えて、交通安全を呼びかけました。ウインドヒルも利用者様3名が高松市三谷町中央の交差点に立ち、反射ベストや反射タスキなどを身に付け、ハンドプレートや横断幕等を活用して、ドライバーや歩行者に対して反射材の効果を訴えるキャンペーンを実施しました。

生活支援員 平山 学



## じゃが芋種芋



橋本種苗園様よりじゃが芋の種芋を沢山頂きました。もう既に芽が出かかっていたのですぐに畑に植えました。たくさん植えたので、収穫の時が楽しみで、どうやって食べたらいいか考えたらずを掘り返すのがワクワクしてきますね。



## アルバイト経験談

香川県県立高松南高等学校 看護科 大屋敷菜々恵さんが8月の夏休みの期間を利用してアルバイトに来てくれました。とても初めてとは思えなく呑み込みが早く、短期間ではありましたが、利用者様とのコミュニケーションも取れ、一人の支援員として居て当たり前という感じでした。是非また来ていただければと思います。

大屋敷さんの感想を頂きましたのでご紹介致します。

### ウインドヒルでの体験についての感想

初めてアルバイトをしてみて、たくさんの気づきがありました。利用者さんのサポートという今まで全く経験のない仕事でしたが、一つ一つの事に順番があり、教えてくださった職員の方は私がわかりやすいように丁寧に教えて下さいました。

また、いろいろな年齢の人や今までいろいろな経験をしてきた人たちとお仕事を一緒にさせていただき考え方の違いや新しい社会情報を得ることができました。同世代の友達や先生としか交流がありませんでしたが、とても良い経験をすることができました。



# 日中活動

令和5年9月9日より新体制になり利用者様も今の環境になれ、ようやく日中においてクラブ・レクリエーション活動、作業が再開できるようになりました。まだまだこれからですが、利用者様と一緒に私たちも成長していかなくてはなりません。

## クラブ・レクリエーション活動

日中は体力づくりの為、様々なクラブ活動、レクリエーション活動をしています。毎月計画を立て、継続していくことが大事と考え、取り組んでいます。



### バドミントン

奥田コーチを迎え、ラケットの振り方、的に向かってシャトルを打ち返す方法などを練習しています。最後には利用者様同士の練習試合などを行っています。闘志むき出しの利用者様もいて見ていて面白いです。



### 卓球

ボランティア有志の方を迎え、卓球台4台でピンポン玉を打つ練習をしています。上手く相手の台に打ち返す人、空振りする人様々ですが、一生懸命に取り組んでいる姿には感動します。

### フレッシュクラブ

小野川先生に来ていただき、色んな方法で体を動かすことを教えてもらっています。音楽をかけ、皆で同じ動きをしてみたり、自分自身でリズムに合わせて音を鳴らしてみたり、また他の利用者様と合奏してみたりと、楽しく体を動かしています。皆で合わせる事の楽しさを知ってもらう、音楽を感じながら叩くことの面白さを体験してもらう、その積み重ねが心を豊かにしていくのだと思います。



### 山登り

毎月近くの「日山」を登っています。途中で他の登山客に挨拶したり、登山道に生えている草木や虫を観察したりと楽しく登山をしています。山頂では双眼鏡をのぞいてみたり、記帳したりしています。

## 作業

ご縁があり、様々な企業様より作業の依頼を頂いております。利用者様が器用に手先を動かして作業をしている姿を見たり、出来たことに嬉しそうなお顔をされるのを見たりすると嬉しくなります。



### パック三樹

ダンボール貼り作業になります。段ボールの中の製品が中で動かないように使用する梱包材を、少し薄めのものと同めものと2種類作っています。



### おみくじ

今年もイベント用に使用のおみくじの成型作業の依頼を受けました。自助具を使い丁寧に成型してくれます。

### ユタカ電装

電装品の組立作業になります。スリーブ、チューブ通し、カブラを取り付けるなどを行っています。その中の作業に自助具を使ってメタルクリップ10枚纏めて束ねる作業があり、ニコニコしながら作業をしている利用者様もいます。

自助具とは、日常生活のさまざまな場面において、可能な限り自分自身で容易に行えるように補助し、日常生活をより快適に送るために、工夫された道具です。利用者様が自分自身では出来ないと諦めていたことが、自助具を使うことにより可能になると、自立生活を高める効果が期待できるため、ウインドヒルでは職員自ら考案し、様々な工夫をした自助具を提供し、作業のしやすい環境を整えています。



# 地域とのつながり



## 三谷八幡宮秋祭り

5月3日(水)の春祭りに続き、10月8日(日) 三谷八幡宮秋祭りに出店いたしました。朝からどんよりとした空模様、いつ雨が降ってもおかしくない天気で、開催が危ぶまれましたが、時間になると、小さな子供を連れた参拝者から年配の方までたくさんの方がお店を覗いてくれました。コロナ禍で制限が厳しかった時と比べ、客足が戻ってきたように思いました。商品を見て「このエコポットかわいいね。」「竹炭いいね。」などと声をかけてくれ、買っていかれる方もいました。「これ利用者さんが作ったの?」と感心して言う方もいました。天気を気にしつつお祭りの雰囲気を楽しんでいましたが、残念なことに途中から雨が降り、中止になってしまいました。仕方なく片付けをしながら、今年も参加させていただいたことを神様に感謝した一日でした。

生活支援員 平山 学

## 三谷コミュニティセンターへ



## カブトムシ成虫提供

昨年に続きカブトムシ成虫ペアを三谷コミュニティセンターに置かせて頂きました。

今年は冬場の管理状態が良くなかったのか、全て SS サイズの小ぶりだったため、大事に飼育して頂ける方に無料で提供致しました。無料という言葉が効いたのか、非常に好調で、3回に分け全部で20ペアほど提供しましたが、直ぐに無くなったようです。3回目にはノコギリクワガタのオスのみではありますが、一緒に提供させていただきました。

今は来年用に確保していた成虫より採卵し、無事に孵化した幼虫を大きくなるように育てています。

三谷コミュニティセンター様からのお礼の言葉を頂きましたので、ご紹介いたします。

「かぶとむしのペアありがとうございました。今回は子供たちにお世話を任せてみました。土の乾燥やえさやり、ゼリー容器回収などなど、子どもたちにお世話を任せることで、飼育方法を調べたり、生き物を育てる責任感が養われたと思います。本当にありがとうございました。」

事務主任 小谷 一良



# 職員研修



## 人材育成研修 社会福祉法人ひらきの里 施設長 松本 正氏

令和5年8月21日 社会福祉法人ひらきの里 施設長 松本 正氏を講師にお迎えし、人材育成研修として「福祉の」働く「を考える」の観点からの講義をしていただきました。今回の研修は今のウインドヒルにおいて非常に大切なことを教えて頂いたと思います。

「目標を持つこと」「働くということ」「組織の力」は福祉の職場だけでなく、一般社会においても至極当たり前のことをお話ししていただきました。「人は誰と出会うかによって幸せの量が変わる」という言葉は心に響きました。「支援は研究職である」この言葉は支援には正解がありません。同じことをしてても結果が違って来る。「何が違うのか?」「その原因は何処にあるのか?」等と毎日毎日色々考えながら利用者様に関わっていくことを考えると納得がいきました。この研修に参加した職員全員が、今後の仕事及び人生において必ず役に立てると確信しております。是非もう一度お話をお聞きしたいと強く思いました。

## 施設内職員意識向上研修

9月11日(月)職員研修。毎年更新している「ウインドヒルのしおり」をテキストにして職員間での研修を行いました。新しい職員の方が増えたので、改めて日課の過ごし方についておさらいをしました。また日々の支援の中で、必要な業務、どうしてその業務が必要なのかを話しました。この日より新生ウインドヒルの出発です。職員全員で「利用者様の為に」頑張っていきたいと思います。

\*「ウインドヒルのしおり」とは職員が「ウインドヒル職員として」知っておかないといけない事、心掛けないといけない事を冊子にしたものです。

## 現場での実践的なチーム支援について

社会福祉法人あかりの家 理事長 三原憲二氏

令和5年10月2日 社会福祉法人あかりの家 理事長 三原憲二氏を講師にお迎えし、昨年に続き「チーム考」の観点から講義をしていただきました。「面白がって仕事をしているか?」は一番心に残った言葉でした。先輩が面白がって仕事をしていないと、新しい職員は育たないし、環境も伴いません。「正論を大切にする。」正論

が語られなくなった時点で組織としての成長が止まる。利用者様の方を見ず、職員の都合に合わせてばかりでは、誠実に利用者様と向き合えない。「記憶は無くても自分がどう扱われているかの漠然とした感情だけは堆積していく。」利用者様は私たちを見ています。

最後に新たにチームを再編成しようとしている私たちに三原先生はエールを送ってくれました。そのエールに応えられる様、頑張りたいと強く思いました。



## 新しい職員

一部の方のみご紹介いたします。

- ①趣味 ②自分を動物に例えると
- ③利用者様とのエピソード
- ④フリートーク



### 稲井耳洗流 (R5.8 月入社)

- ①韓国ドラマを観る事
- ②プレーリードック
- ③物覚えの悪い私に皆優しく教えてくれます。日々感謝しています。
- ④分からない事、覚えておけない事たくさんあります。自分なりに頑張っているつもりです。

### 山道ミチヨ (R5.8 月入社)

- ①趣味とまでは、いけないけれど庭の花の手入れ、健康の為にウォーキング
- ②自分では動物に例えたことはないのですが、しいて言えばうさぎに似ています。
- ③帰る時に利用者様が次は何曜日の午後よろしくお願ひしますと言ってくれる事がうれしくて、またがんばろうと思います。
- ④利用者様とは作業中ほとんど話をしませんが作業所内でのそうじ、トイレのそうじ、休憩時のお茶係を1人1人の役割を責任を持っているのがすばらしいなあと思いました。

### 船本あゆみ (R5.9 月入社)

- ①今は特に無いのですが息子と山登りを趣味にしたいと思っています。
- ②なまけもの(だらだらのんびりするのが好きです)
- ③午後の活動(交流棟)へ行く前に帽子がなく一緒に居室に探しに行き、タンスを開けるといつもかぶっているキャップの帽子ではなくツバの広い大きな麦わら帽子を発見。「キャップないね。この麦わら帽子かな?」と聞くと手に取る利用者さん。「いや、やっぱり違うな(笑)キャップどこにあるか聞いてみる!」と言われるとニヤリと笑って「フツ」と声を出して笑う利用者さん。私の慌てぶりに余裕の表情を見せる利用者さん。
- ④「声」を聞くことが少なかったため、そこも聞けた嬉しさもありました。😊入社して2ヶ月が経とうとしていますが、まだまだ毎日アタフタしてしまいます。利用者さんから教えてもらう事が本当に多く助けられています。利用者さんの事、もっとよく知り、一緒に笑い合える時間を時間を沢山共有したいです。😊

### 猪塚 陽子 (R5.10 月入社)

- ①好きと上手は違いますが、料理・洋裁・和裁
- ②クマ
- ③職場体験ボランティアで始めて利用者様と会った時、純真無垢な表情とまっすぐで一生懸命な姿勢に心が洗われる想いがしました。
- ④本当はワンちゃん派ですが、保護猫ちゃん達5匹に癒やされています。

## 寄 付



### ①三和電業株式会社 高松支店社員一同様より

毎年、職員一人一人の善意の気持ちを結集して御寄付を頂きました。ありがとうございます。

### ②兵庫県 丸橋様より

ジャージ下、Tシャツ、水着を使ってくださいとたくさんいただきました。何かのイベント時には大事に使わせていただきたいと思います。ありがとうございました。



## お知らせ

「高松市主催 デリバリーアーツ 2023」の協力団体募集に応募し、下記の日程で開催されることが決定しました。文化や芸術を身近に感じてみませんか。皆様お誘いの上、是非足をお運びください。

**公演名** 讃岐国分寺太鼓「和・心・響・感」  
\* “高松市国分寺町から発信する音”をテーマに活動している讃岐国分寺太鼓保存会、ダイナミックな“和の響き”は年齢を問わず楽しめます。

**開催日時** 令和5年11月29日(水)

**開 場** 13時開場 13時30分開演(公演時間約1時間)

**会 場** 障害者支援施設ウインドヒル 地域交流棟 **観覧無料**

**お 願 い**…引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止措置のご協力をお願いいたします。(咳エチケット、手洗い、手指の消毒)当日、発熱や風邪症状がある等、体調のすぐれない方はご遠慮ください。

\*デリバリーアーツとは・・・文化や芸術を身近に感じて頂きたく、色んな公演の「出前」を無料で行います。



## 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会会員

敬称略・順不同

### ●令和5年度個人会員

計野浩一郎 鏡 直子 三原 憲二

### ●令和5年度団体会員

株式会社コート

令和5年6月21日～令和5年10月30日現在、以上の方々に継続及び新規にご入会して頂きました。

令和5年10月31日以降にご入会の方々は、次回の会報にお名前を掲載させていただきます。本当にありがとうございます。

## 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会のご案内

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会は、当法人が運営する障害者支援施設「ウインドヒル」をサポートしています。今後長年にわたり、利用者一人ひとりを大切にしたい理想的な療育を行い、施設の整備を継続的に発展させてゆくには、より多くの方々のご支援を必要としております。

何卒、私達の趣旨をご理解いただき「社会福祉法人ポム・ド・パン後援会」にご入会下さいますようお願い申し上げます。

**なお、すでに会員の方には毎年度初め4月1日付で継続お願いのご案内と振込用紙を送付しております。よろしくお願いいたします。**

[年会費] 個人会員 一口3,000円 団体会員 一口10,000円

[ご入金方法] 郵便振替 口座番号 01690-3-74305 口座名称 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会

## あたたかいご支援、本当にありがとうございました



社会福祉法人ポム・ド・パンのホームページです。  
当法人からのお知らせやウインドヒルでの取り組みなどを随時更新していますので、是非ご覧ください。スマートフォンでは、右のQRコードから読み取れます。  
アドレス：<http://www.pomme-de-pin.or.jp/>



社会福祉法人ポム・ド・パン

## 編集後記

都市景観大賞をご存じですか？良好な景観の形成に資する普及啓発活動の一環として、平成3年度より毎年実施されている表彰制度です。

景観に関する優れた地区・活動に対し、「大賞」「優秀賞」を授与します。令和5年度は「都市空間部門」で高松市屋島地区が大賞(国土交通大臣賞)に選ばれました。

今、屋島山上には現代建築・交流拠点施設(愛称“やしまー”)が建設されており、圧巻の眺望体験が得られるそうです。今後は全国からたくさんの観光客が香川を訪れるでしょう。私も久しぶりに一度行ってみようと思います。



松ぼっくりのポムです。



松ぼっくりのパンです。